

## 4月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成 22 年 5 月 1 4 日

- 調査対象店舗 : 20社40店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)
- 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれず。

### 1.免税手続きベースの売上および対前年比

- ◆ 売上高総額 (40店舗) …… 24億68万円余 (1店舗平均:約6,000万円)
- ◆ 売上高前年比 (40店舗) …… 137.3%

### 2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

- ◆ 購買客数合計 (40店舗) …… 35,310人 (1店舗平均:883人)
- ◆ 購買客数前年比 (40店舗) …… 137.6%

### 3.免税手続き一人当たりの購買単価

- ◆ 一人当たりの購買単価 (40店舗) …… 68,000円
- ◆ 一人当たりの購買単価前年比 (40店舗) …… 99.8%

### 4.外国人観光客に人気のあった商品

第1位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、コート、ワンピース、カットソージャケット)

第2位 婦人服飾雑貨 (ハンカチ、靴、革小物、傘、キタムラバッグ)

第3位 ハイエンドブランド (カルティエ、グッチ、シャネル、ルイ・ヴィトン、エルメス)

第4位 紳士服・雑貨 (バーバリーブラックレーベル、ジャケット・スーツ、アルマーニ)

第5位 化粧品 (資生堂、SKII、アルピオン、ファンケル)

- ◆ 春夏物の立ち上がりで婦人服が大きく動いた。天候不順で肌寒かったせいか、コートやカーディガンが良く売れた。(東京、名古屋、大阪)
- ◆ アラブ首長国連邦のお客様が子供服を纏め買いされていた。(東京)
- ◆ 子供服やサンリオ玩具、伊東屋の文房具等を纏め買いされる家族客が多かった。(東京、名古屋、大阪)
- ◆ 韓国のお客様は、紳士ゴルフウェアを購入する目的で来店されている。(東京)
- ◆ エルメス、カルティエ、シャネル等のハイエンドブランドは、引き続き人気が高かった。  
(東京、仙台、大阪、鹿児島)

## 5.免税手続きカウンターの来店国別順位

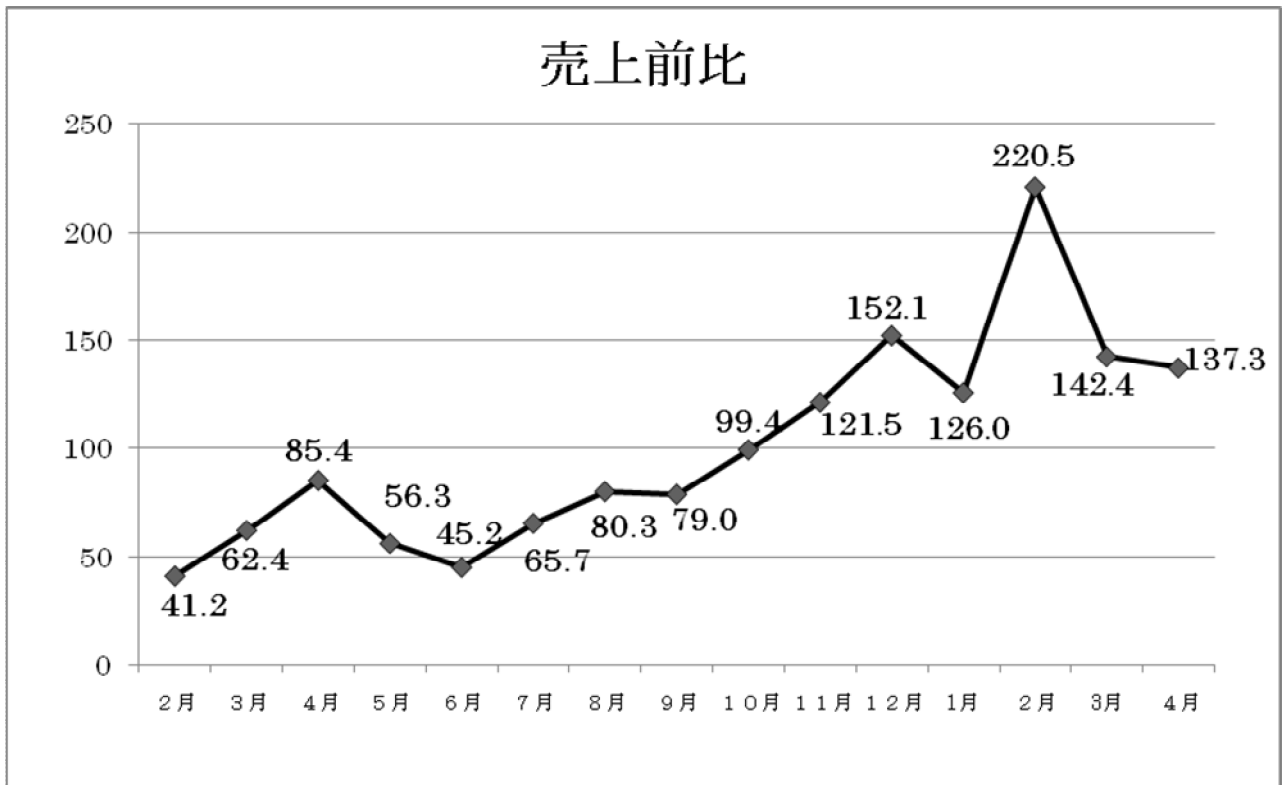
第1位： 中国本土    第2位： 香港    第3位： 台湾    第4位： 韓国

第5位： シンガポール    第6位： マレーシア    第7位： タイ

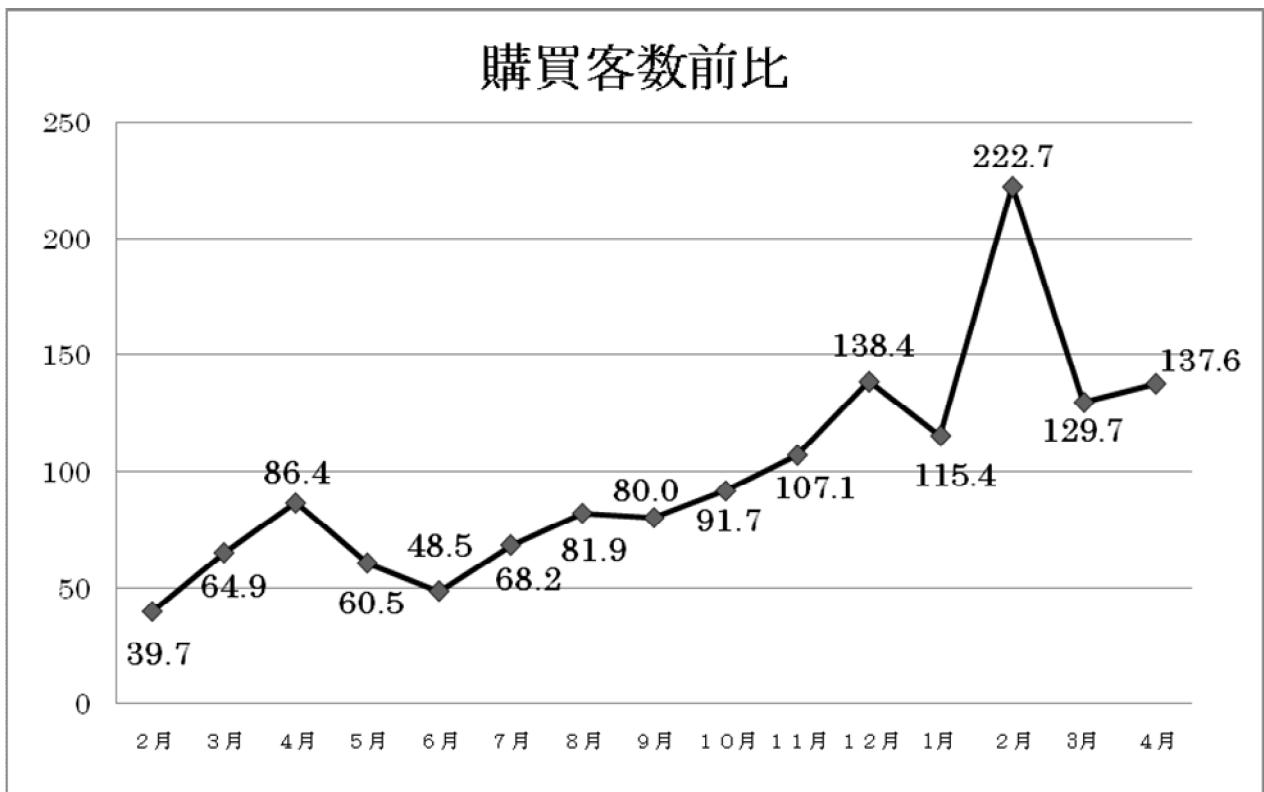
## 6. 今月の概況他

- ◆ 売上、客数とも昨年比を大きく上回り、40店舗中34店舗がプラスに転じた。
- ◆ 銀聯カードの売上シェアは20%を占め、銀聯カードによる購買単価は6万9千円と平均の2倍になっている。(札幌)
- ◆ アジア系はご自分用、欧米系はお土産用の購入傾向がある。(上野)
- ◆ マレーシアからのお客様が、前年より3倍も増えていた。(札幌)
- ◆ 大型催事「質屋大放出事」を開催した際に懸垂幕に中国語を掲出した。(新宿)
- ◆ 4月は、イースター休暇から始まり、タイのソンクラーン休暇(旧正月)まで、コンスタントにお客様が来店された。(新宿)
- ◆ 中国は清明節(4/3~4/5)休暇もあり、多くの富裕層が来店していた。(名古屋、大阪)
- ◆ 4月(7日、20日、28日)は3回程、アジア観光客船が入港し、売上が伸長した。(鹿児島)
- ◆ 来店客数急増の半数は、韓国、タイの急伸によるものであった。また、中国だけではなく、アラブからもお花見をメインにした観光が多くなった。(渋谷、池袋、銀座、新宿)
- ◆ これまでのVJY事業や、新たな来阪ツアーの強化策が奏功して、売上・来店数ともコンスタントに上昇している。店が取組んだクーポン効果も大きく寄与したと思われる。(大阪)

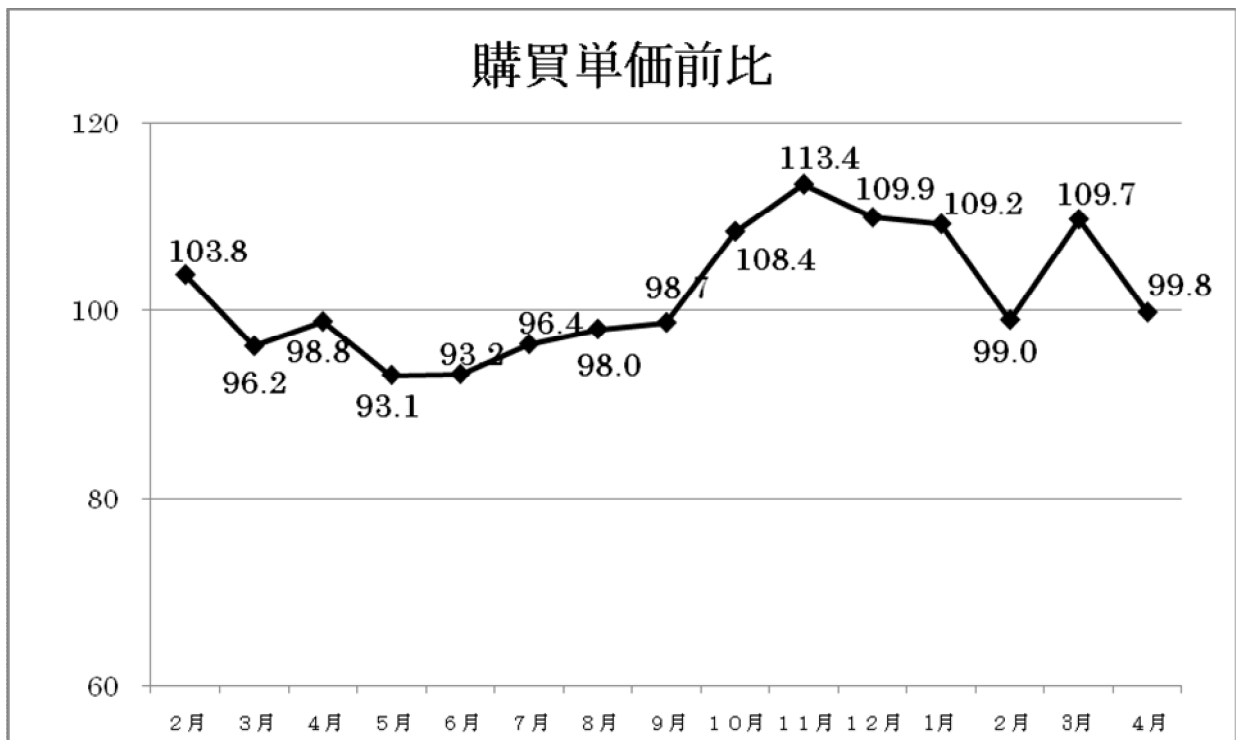
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666